

# カリキュラム

機構施設名：岡山職業能力開発促進センター

実施機関名：一般社団法人日本経営協会関西本部

<b>B.組織マネジメント</b>	<b>リスクマネジメント</b>	<b>リスクマネジメントによる損失防止対策</b>
-------------------	------------------	---------------------------

<b>到達目標</b>	リスクマネジメントに関する考え方や方法を理解することで、リスクによる損失の回避及び損失拡大の防止を行い、不確定要素の軽減及び排除を目指す。
-------------	---

指導内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
指導内容	1	<p>リスクマネジメントとは</p> <p>(1)企業におけるリスク防止の重要性 リスクマネジメントとはどのようなものなのかを知り、なぜ大切なのかを知る。また、リスクマネジメントを行わないときの悪影響を考える。</p> <p>(2)リスクマネジメントの全体像 リスクマネジメントの流れ(特定→分析→評価→対策)を知り、それぞれに取り組むべきことについての概要を理解する。</p> <p>(3)リスクマネジメント演習【演習あり】 企業のリスク対応事例についてディスカッションすることで、リスクマネジメントの重要性を再確認し、自分事にする。</p> <p>(4)リスクマネジメントの阻害要因を知る リスクマネジメントの重要性を知っていても、実際に対応しない場合が少なくない。リスクマネジメントを行わないことに対する阻害要因を知り、その阻害要因を乗り越える方法を学ぶ。</p>	2.5
	2	<p>リスク分析手法</p> <p>(1)リスクの優先順位付け 洗い出したリスクを優先順位付けして、それぞれのリスクに対してどのように対応していくのか、方向性を考える。</p> <p>(2)リスクをシナリオで分析する【演習あり】 シナリオ分析の手法を使い、リスクによってどんなことが起こるかを想定する。そうすることによって、それぞれのリスクの重要度に気がつくことができ、また対応策につなげる。</p> <p>(3)リスクへの対策を考える リスクに対する事前対応・事後対応の手法を知る。そうすることで、対応が必要なリスクについて、それぞれの方針を明らかにする。</p> <p>(4)組織的にリスクに対応する 属人的ではなく組織的にリスクに対応する手法を学び、組織的にリスクを減らしていく手法を身につける。</p>	3.5
合計時間			6.0

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
特になし	・ホワイトボード、プロジェクタ、スクリーン ※PCは原則講師が持参
●テキスト	●その他
・原則として講師の自作テキストを使用	特になし